

2020年10月28日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社
(東証一部 / 証券コード: 3762)

株式会社 NOBORI、医用画像診断支援 AI プラットフォームにおける 画像診断支援ソフトウェアサービス提供を拡充

当社の連結子会社(持ち株比率: 66.6%)である株式会社 NOBORI(本社: 東京都港区 代表取締役社長: 依田 佳久、以下「NOBORI」)は、エムスリー株式会社(本社: 東京都港区 代表取締役: 谷村 格、以下「エムスリー」)と共に推進している医用画像診断支援 AI プラットフォーム事業において、エルピクセル株式会社(本社: 東京都千代田区 代表取締役社長: 島原 佑基、鎌田 富久)および VUNO Inc(本社: 大韓民国ソウル 代表取締役 CEO: Hyun-Jun Kim)の2社の画像診断支援ソフトウェアの提供を新たに開始することをお知らせいたします。

本年5月7日に発表のとおり、NOBORIは、AIによる診療現場の支援を浸透・加速させることを目的として、エムスリーと事業提携契約を締結し、画像診断 AI プラットフォーム事業を推進して参りました。この度、本事業のソフトウェアサービスを拡充することにより、医師による読影の見落としを防ぎ、また、医師の日々の業務や診断の効率化をより一層支援いたします。

今後も、診療に向き合う医師や患者様の安心・安全への支援、そして、効率的な医療の実現に貢献できるよう、努めて参ります。

新たに提供を開始する画像診断支援ソフトウェアの詳細は、次ページをご覧ください。

**医用画像診断支援 AI プラットフォームにて、
新たに 2 社の画像診断支援ソフトウェアのサービス提供開始**

株式会社 NOBORI（本社：東京都港区、代表取締役社長：依田 佳久）は、エムスリー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：谷村 格、URL：<https://corporate.m3.com/>、以下「エムスリー」）と手掛ける医用画像診断支援 AI プラットフォーム事業において、新たに以下 2 社（50 音順）の画像診断支援ソフトウェアを提供開始いたします。

- エルピクセル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：島原 佑基、鎌田 富久、以下「エルピクセル」）
対象ソフトウェア：医用画像解析ソフトウェア EIRL Chest Nodule（販売名：医用画像解析ソフトウェア EIRL X-Ray Lung nodule）
- VUNO Inc（本社：大韓民国ソウル、代表取締役 CEO：Hyun-Jun Kim、以下「VUNO」）
対象ソフトウェア：VUNO Med[®]-LungCT

1. エルピクセル社開発 医用画像解析ソフトウェア EIRL Chest Nodule の概要

EIRL Chest Nodule は、胸部 X 線画像から肺結節の疑いがある候補域を検出し、医師の診断支援を行うソフトウェアです。胸部 X 線画像から条件を満たす肺結節の形状に類似した領域（5mm～30mm まで）を検出し、医師による読影をサポートします。疾患部位を陽性と正しく判定する指標である「感度」において、本ソフトウェア無しに医師が単独で読影した場合と比べ、本ソフトウェアを用いて読影した場合には、放射線科専門医で 9.95%、非専門医で 13.1%の感度向上が認められました。同試験結果に基づき本ソフトウェアは薬事承認を取得しています。毎年、健康診断など膨大な検査数が実施される胸部 X 線検査において本ソフトウェアを活用することで、見落としを防ぎ、医師の読影をサポートいたします。

2. VUNO 社開発 VUNO Med[®]-LungCT の概要

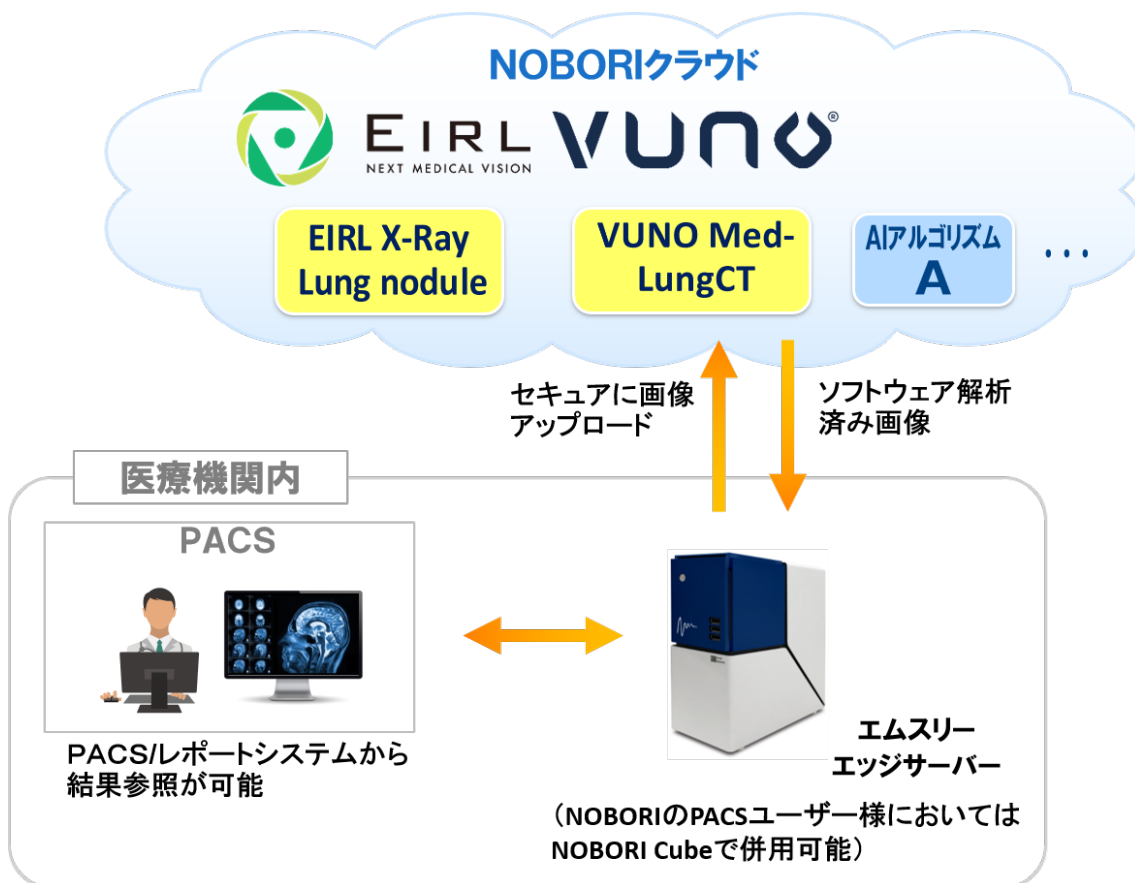
VUNO Med[®]-LungCT は、胸部 CT 画像の解析を行うことにより、診療のための情報を提供するソフトウェアです。画像解析機能により肺野の結節影等、ユーザーが関心を持つ領域に自動で色付けを行うことで視認性を高め、計測処理機能により体積・CT 値を自動で算出します。本ソフトウェアを活用することで、医師の毎日の業務のサポート及び診断の効率化を目指しています。

3. 利用イメージ

今回、医用画像診断支援 AI プラットフォーム上で 2 社のソフトウェアを提供開始することにより、エムスリーエッジサーバー（※）を介して、ご利用いただける診断支援サービス

がさらに充実しています。継続して、診療に向き合う医師や患者の安心・安全への支援、そして効率的な医療の実現に貢献できるよう努めてまいります。

※NOBORI Cube 導入施設でも同様にご利用いただけます。



エルピクセル株式会社について

エルピクセル株式会社は、ライフサイエンス領域の画像解析に強みを持つベンチャー企業です。医療・製薬・農業などのライフサイエンス領域に対して画像解析技術とりわけ人工知能技術を応用することで、高精度のソフトウェアを開発してきました。現在、東京大学や国立がん研究センターをはじめ複数の医療機関と連携し、人工知能を活用したAI画像診断支援技術 EIRL (エイル) の研究開発を進めています。

エルピクセル株式会社の詳細情報は <https://lpixel.net/> をご覧ください。

VUNO Inc について

VUNO は医療分野に特化した人工知能、AI 技術を活用し、疾病・疾患の診断や治療、予後をサポートするためのソフトウェアの研究開発をしている企業です。医療分野へ最適化させるためのディープラーニングエンジン VUNO-Net™を基盤にした独自の技術で、医療画

像、生体信号、音声など、医療現場における多種多様な情報のデータを分析し、医療従事者の業務をサポートするための製品を開発しています。

国際学術誌、学術大会や国際的な画像診断技術コンテストでその技術力が評価されています。今般、眼底画像読影補助のための「VUNOMed®-Fundus AI™」、および生体信号ベースの心停止予測が可能な「VUNOMed®-DeepCARS™」のソフトウェアが韓国の MFDS（韓国食品医薬品安全省）の革新的医療機器に指定されました。

VUNOMed®の多岐に渡るソリューションは、PACS、電子カルテなど様々な外部システムとハードウェアへ搭載が可能で、現在 200 ヶ所以上の韓国内外の医療機関に導入され、臨床現場での有効性が確認されています。

VUNO Inc の詳細情報は <https://www.vuno.co/> をご覧ください。

エムスリー株式会社について

日本の医師の約9割が登録している医療情報配信ポータルサイト「m3.com」を運営しており、製薬業界を中心にマーケティング支援サービスや治験支援サービス等を提供しています。また、米国、英国、中国など海外への事業展開も積極的に進めています。2017年4月にはM3AI ラボを発足し、画像診断を含めたAI医療機器の開発支援など先端医療分野での事業拡大を推進しています。

エムスリー株式会社の詳細情報は <https://corporate.m3.com/> をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 NOBORI

Tel : 03-4405-7834 e-mail : ai-sales@nobori.ltd